



横浜みどりアップ計画 地域緑のまちづくり事業

R E P O R T

●地区名 **みなとみらい21
横浜駅東口・中央地区**

●団体名 **みなとみらい21横浜駅東口・中央地区緑のまちづくり協議会**



◎所在地：西区みなとみらい
1～6丁目

◎取組期間 **5** 年

◎協定締結期間

平成 **26** ～**30** 年度

横浜みどりアップ計画とは

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画」を進めています。

詳細は...

地域緑のまちづくり事業とは

地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、市民との協働により緑化を進めるものです。

詳細は...



地区の範囲図及び緑化実施場所

団体・地区の概要

みなとみらい21横浜駅東口・中央地区緑のまちづくり協議会は一般社団法人横浜みなとみらい21の環境対策委員会をベースに組織され、新たに進出した企業等を加えて協議会を構成しております。みなとみらい21地区の魅力の一つである「海」や「広々とした空」と同様に、緑化においても魅力を感じさせる仕掛け（ヒューマンスケールの緑）を充実させる必要性から、平成22年から本事業の計画策定に向けて取り組みを始めました。

みなとみらい21地区は区域面積が186haと広大であるため、本事業においては「中央地区」、「新港地区」、「横浜駅東口・中央地区」の3地区に分けています。この横浜駅東口・中央地区は業務系・商業系及び住居施設が立ち並び、また新たな街区開発も進行しているエリアとなっておりますが、臨港パーク、高島中央公園及び高島水際線公園などの公園・広場を抱えるエリアとなっております。

取組（計画）の概要

「価値のある緑と花を増やし、みなとみらい21地区の景観と調和した環境を整備する」ことをコンセプトに、以下の2つの方針を掲げ計画に取り組みます。

- ①ヒューマンスケールの緑化（緑花）の質と量を向上させる。
- ②緑と花が溢れる街の維持管理のしくみを構築する。



資生堂グローバルイノベーションセンター(S/PARK)(56-2街区)の壁面緑化



資生堂グローバルイノベーションセンター(S/PARK) (56-2街区)の入口付近緑化



みなとみらい大橋(中央分離帯)の緑化



横浜アンパンマンこどもミュージアム(61街区)の沿道緑化



公開空地(68街区)の花壇整備



みなとみらい大橋(歩道部)の緑化

主な取組み実績

助成金額合計:57,625千円

民有地緑化

公開空地への花壇整備や企業敷地の散策路などの緑化を実施

スカイビルと横浜新都市ビル間の公開空地(68街区)において、花壇整備(9基)を実施したほか、新規開発とあわせて、横浜アンパンマンこどもミュージアム(61街区)での散策路の緑化や、資生堂グローバルイノベーションセンター(S/PARK) (56-2街区)の敷地内の沿道緑化や入口付近の壁面緑化を実施しました。

活動支援

「みなとみらい水と緑の生き物ガイドブック」を制作

1年間の地区内調査をもとに、みなとみらい3地区合同で、地区内で目にすることのできる植物や生き物をまとめた「みなとみらい水と緑の生き物ガイドブック」を制作しました。

公共施設緑化

地区全体のイメージを高めるとともに、緑のネットワークの形成を図るため、「まちをつなぎ、人をいざなう、風景を美しく見せる緑の帯」をコンセプトに、横浜マラソンのスタート地点であるみなとみらい大橋の歩道部分及び中央分離帯に緑化整備を実施しました。



5か年の取組みを振り返って

スカイビルと横浜新都市ビルの間は、花壇を整備したことで、人があまり留まっていなかった空間が集まる場となり、就業者だけでなく来街者に対してもうおいのある空間を提供することができたのは一つの成果と感じています。

【問合せ】

横浜市環境創造局みどりアップ推進課

【TEL】045-671-3447

【FAX】045-224-6627

【Mail】ks-ryoka@city.yokohama.jp